

# 福井工業大学 SSL デザイン工房棟 I

吉野 剛\* 相馬 浩貴\*\* 谷内 眞之助\*\*\*

## Fukui University of Technology Design House I of Student Space Laboratory

Yoshino Tsuyoshi Souma Hiroki Taniuchi Shinnosuke

This architecture is a building constructed in commemoration of the Kanai school 60th anniversary. This plan included the participation of positive students, and design house for the students, by the students, of the students was completed. One institution was completed, but also was able to have many experiences, because a company performed collaboration with students and a teacher, it was completed. I think to very valuable things and record these things including a building process.

Industry-Academia Collaboration, Student Participation, Uncommon, Throbs

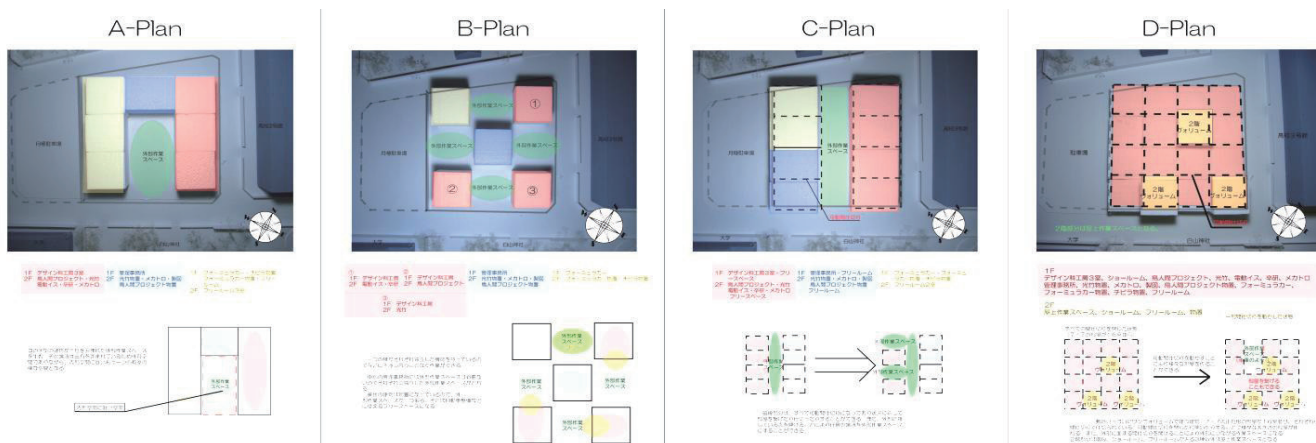


図- 1 企画模型

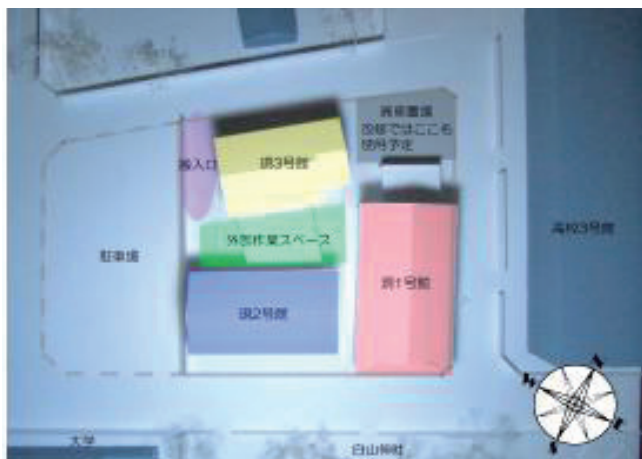


図- 2 現況模型

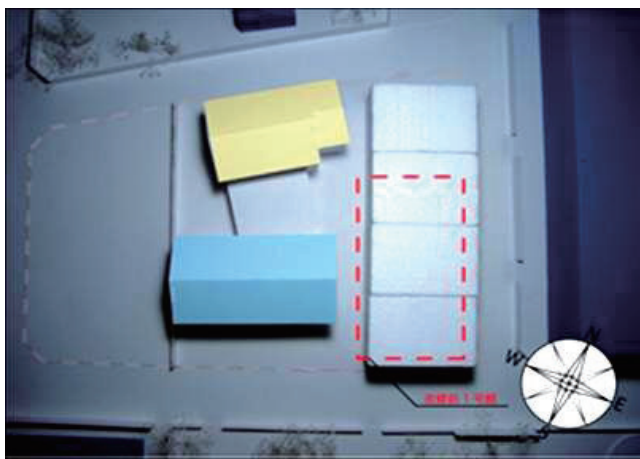


図- 3 計画模型

\*デザイン学科 \*\*村中建設株式会社 \*\*\*デザイン学科

## 1. はじめに

本計画である SSL 棟は、それまでの福井工業大学附属マルチメディア・デザイン・カレッジ施設を平成 14 年に一部改造し、平成 15 年以来、自由なものづくりの場として、フォーミュラーカーコンテスト、各種学外コンペなど学生の自主独立的な創作活動に利用されている建物である。しかしながら、既存 3 棟の施設は、経年による老朽化、各種プロジェクトの増大、新学科設立に伴う工房棟の必要性などとあいまい、規模の拡張が求められ、当時の福井工業大学デザイン学科設立準備委員会のメンバーによって建設構想の立案・作成が進められる事となったものである。当初構想としては、3 棟全ての改修・建替えも含め企画検討されたが（図-1）、本計画は I 期工事のみとして、1 号館建て替え新築工事の施工となったものである（図-2・図-3）。

## 2. 目的とデザインプロセス

福井工業大学において、SSL デザイン棟に求められる目的は、各種創作活動需要に伴う面積確保及び、デザイン学科の工房・スタジオ機能はもちろんであるが、学園創立 60 年を記念して、又学生第一主義の具現化として、建築的にも運用的にも新たなイメージを求めている事は、重ねられる学園サイドとのプレゼン会議において関係者間の共通認識によるものであった。

結果本計画は、基本計画段階より学生の学生による学生のための工房施設として立案され、吉野研究室と村中建設株式会社にて設計・施工される産学連携物件として、平成 21 年 5 月 30 日に着工、同年 9 月 15 日に無事竣工したものである。その間に開催される施工会社との実務会議においても、各種スタディー模型の作成及び仕上げ材のカラースキームプレゼン等に学生が参加し進められたのはもちろんである（図-4）。

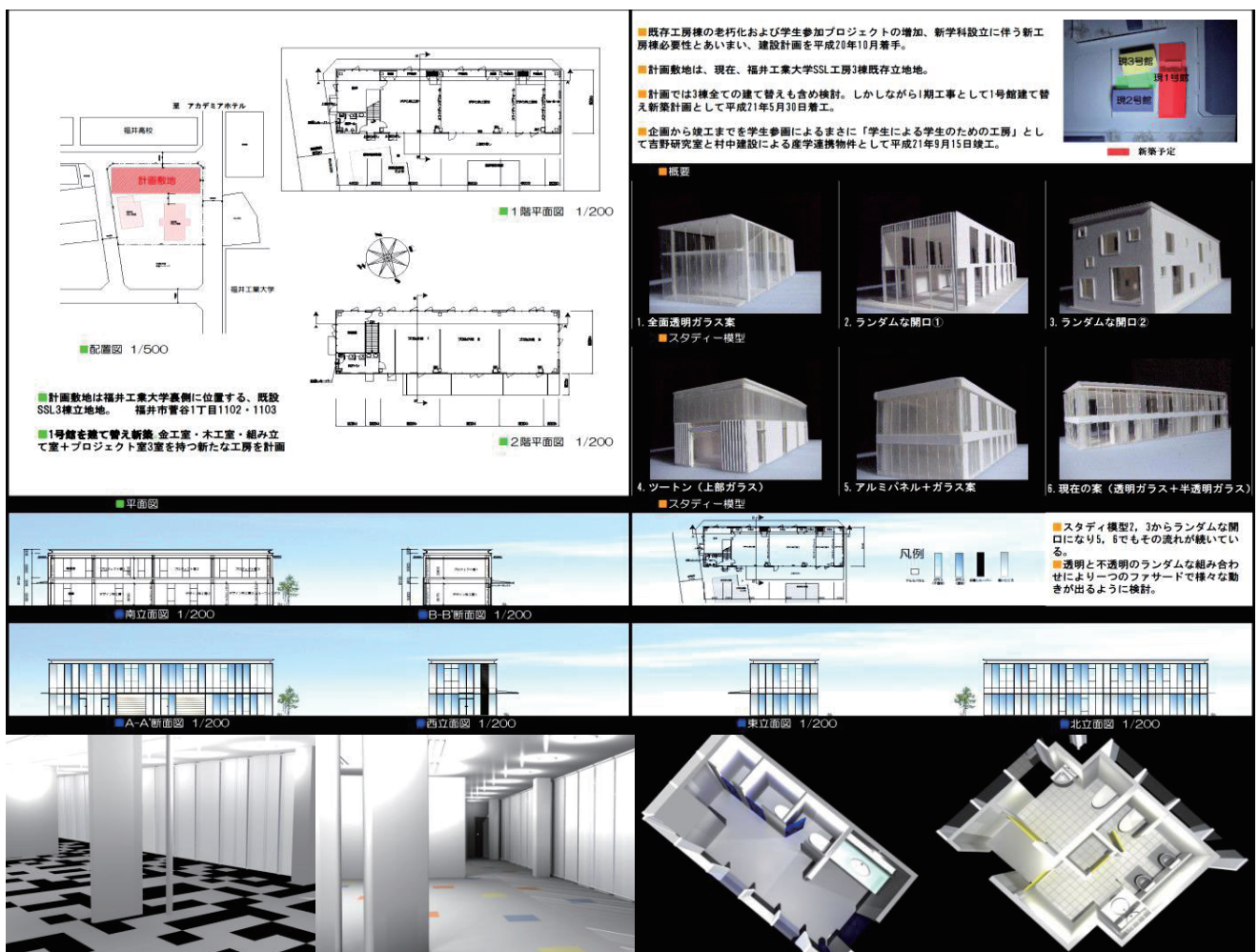


図- 4 基本計画

### 3. コンセプト

#### ・建築コンセプト 「新福井工業大学イメージの建築化」

工業大学と言えば、質実剛健、基幹・基礎技術を基盤とした技術者の養成とあるように、何か堅く、重厚長大なイメージと成りがちである。新たな大学施設として明るく、感性に訴え、かつ透明感がありながら、安心感のあるイメージを具現化したものである。

#### ・デザインコンセプト「躍動」・「非日常」

デザインする事は、ある意味「非日常」を創造する事である。

工房といえば、閉鎖された工場のような空間になりがちであるが、四方をペアガラス（断熱シート張り）カーテンウォールの外壁とすることで、内・外部ともに「見る・見られる」という関係を構築したものである。学生達は、見る・見られる事により情報発信し刺激を受け、近隣住民は同時に大学との関係を得る事が出来る。この「非日常空間」から育まれる新たな関係性により周辺環境との調和が図られればと願うばかりである。

彼らが思い思いの場所で自由にデザイン・モノヅクリに励む姿は、「躍動」。そのイメージを外壁のガラス透明度の変化で表現したものである（図-5）。

### 4. ディテール

#### ・日射対策 外壁は全面複層ガラスカーテンウォール。

夏期における日射対策を考慮し、ペアガラス（5+6+5）+日射遮蔽フィルム張り+ロールブラインド、又屋根部からの輻射熱対策として外断熱防水+天井裏断熱材（グラスウール t=100）敷を採用。



図- 5 竣工写真

- ・教育資源 建築学科並びにデザイン学科の教育資源として活用可能。  
工事中、基礎打設時・上棟時・竣工時において現場見学会を開催（図-6）。  
天井隠蔽部分をスケルトン仕上げとし設備配管等の可視化に努める。
- ・可変性 工房、展示、スタジオ、工作等フレキシブルに対応可能。  
1・2階ともに可動式間仕切り（2階はホワイトボード仕様）を採用し多様な用途に可変可能な仕様を採用。
- ・耐久性 外壁建具は、オープンジョイント方式アルミサッシュ、各ボードコーナー部はスチール養生、外部出入り口は、三法枠の下部300mmも含め防錆対策としてステンレスを採用するなどメンテナンスフリー化に努める。
- ・景観配慮 軒高は、隣接する中学校校舎の高さに合わせ、接道面には緑地（低木）を植栽。  
室外機は屋上及び学園道路側に配置し近隣配慮。
- ・工期短縮 スパン割、サッシュ割、天井割付等は、基本的にメーターモジュールとし、施工性の向上、資機材の省力化、工場生産品の活用により工期の短縮を計る（在来工法は躯体・防火壁）。
- ・その他 主用途がデザイン学科学生の実習・演習となるため、定まった区画は最小限とし、1階接道面、2階外周部はトイレも含め展示空間として利用可能なように余裕のある空間構成。色彩計画としては、基本的にモノトーンとし、アクセントカラーとして、床材の一部・階段手すり、トイレブースドアーに赤・黄・青色の工大カラー3色を採用。（図-7・図-8）



図- 6 現場見学

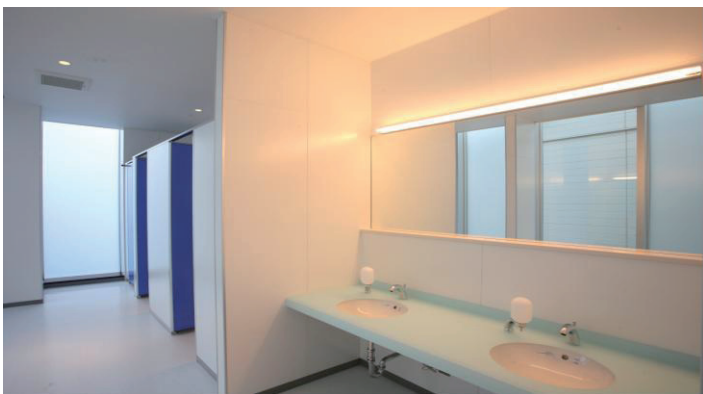


図- 7 2 階（女子トイレ）

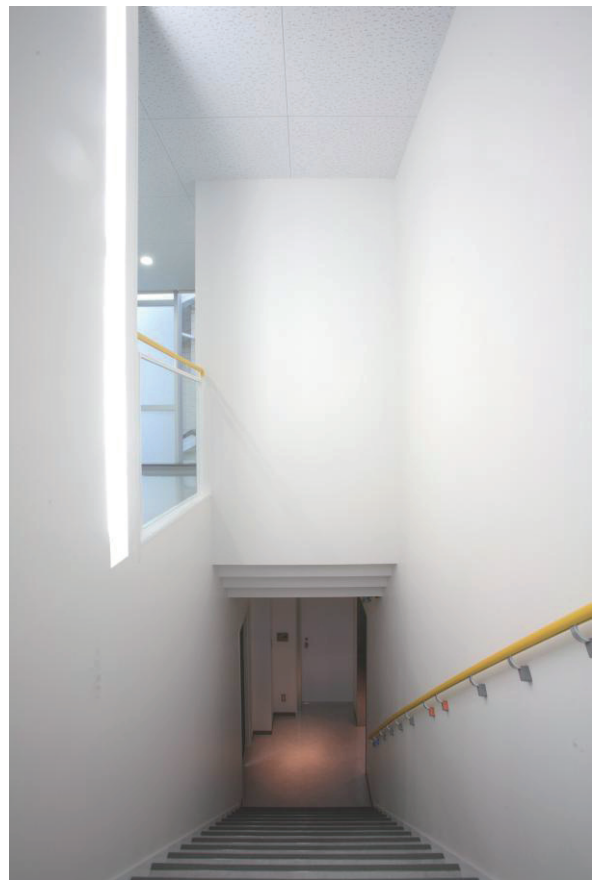


図- 8 階段

## 5. 建築概要

工事名称	福井工業大学 SSL デザイン工房棟
工事場所	福井市菅谷1丁目1102, 1103
施主	学校法人金井学園 理事長 金井 兼
基本/監修	福井工業大学 吉野 剛+吉野研究室
設計/監理	村中建設一級建築士事務所
施工	村中建設 株式会社
工期	平成21年2月12日～平成21年9月15日
構造	S造 地上2階
主要用途	学校（工作工房・スタジオ）
建築面積	294.37 m <sup>2</sup> 延べ面積 540.00 m <sup>2</sup>
外壁	複層ガラスカーテンウォール
設置機器	木工プレス、スライドソー、卓上万能帯鋸盤、定盤固定自動一面カンナ盤他



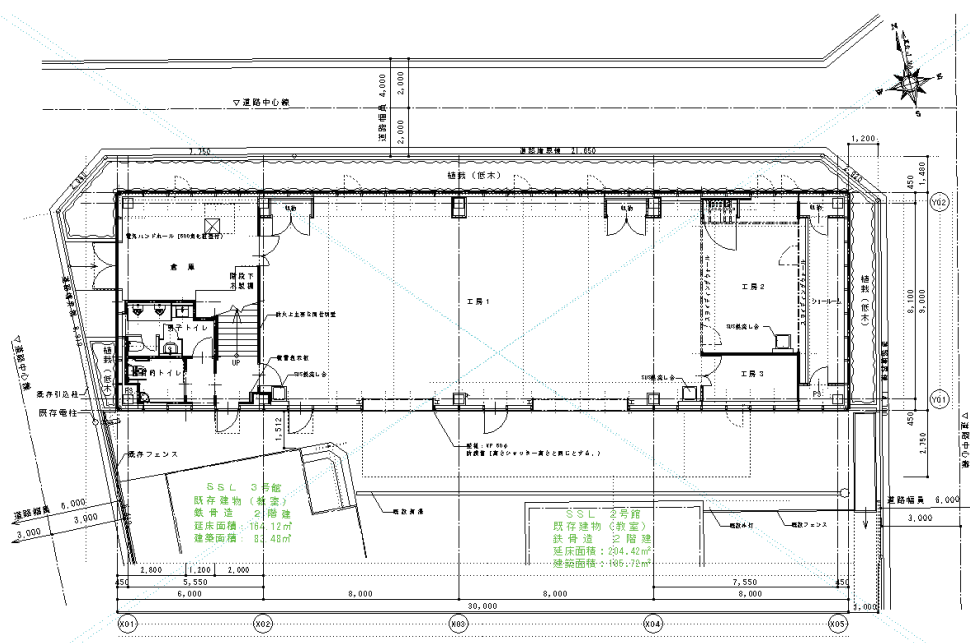
図- 9 工事進捗写真

## 6. 基本図面

### 配置図

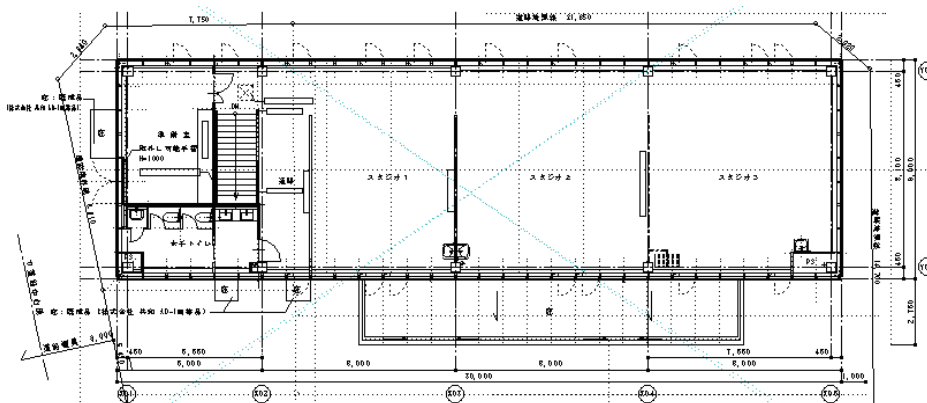
#### 1 階平面図

S=1/300



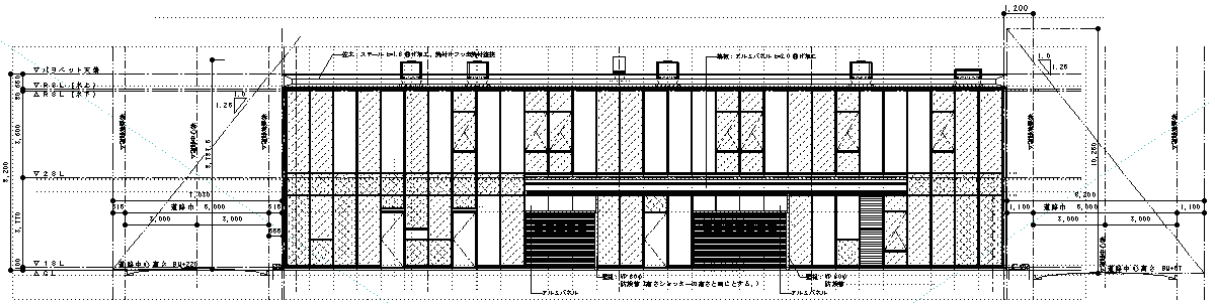
#### 2 階 平面図

S=1/300



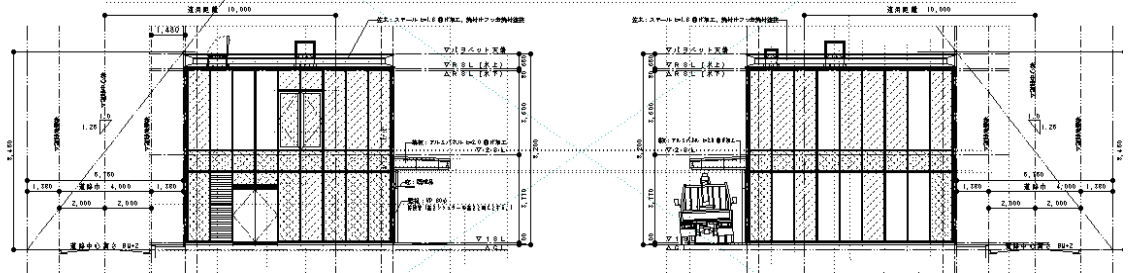
南立面図

S=1/300



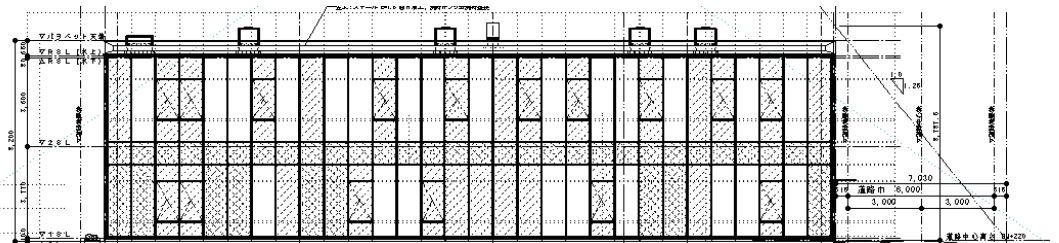
西・東立面図

S=1/300



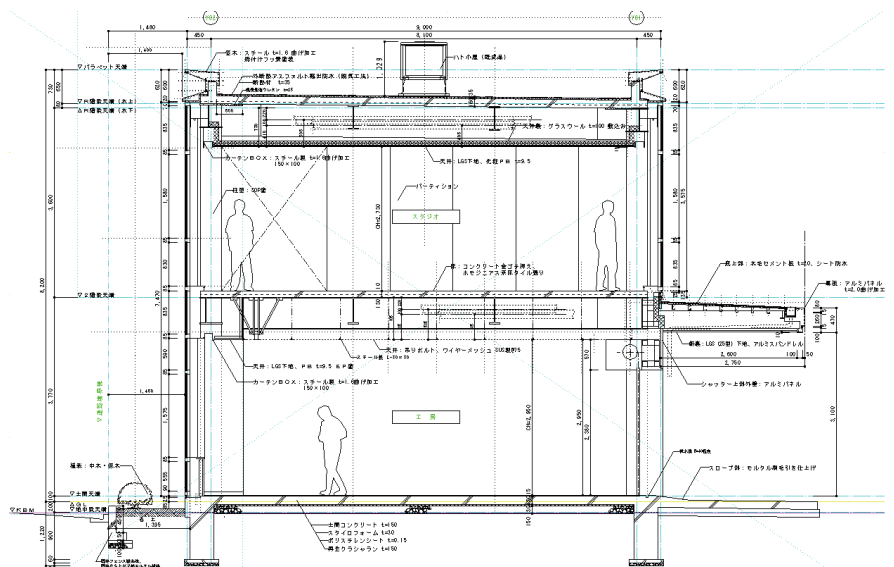
北立面図

S=1/300



矩計図

S=1/150



Location :

1102, 1103-1, Sugaya, Fukui-city

Main Use : Laboratory

Site Area : 936.98m<sup>2</sup>

Building Floor Area : 294.34m<sup>2</sup>

Total Floor Area : 540.00m<sup>2</sup>

## 7. おわりに

この施設は、一昨年度後期より運用され、デザイン学科の学生はじめ多くの学生に利用されている。今後とも、学生たちがいきいきとデザインやモノづくりに励む施設として末永く利用され、世界に羽ばたく学生や作品が誕生する事を願ってやまない。また本建築を実施するにあたり、学園関係者はじめ、福井工業大学デザイン学科並びに建築学科教員、村中建設株式会社又この計画企画段階より参加した三中君、延利君はじめ‘09吉野研究室のメンバーに謝辞を申し上げる。

(平成23年3月31日受理)